

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	3972100469
法人名	有限会社 ライフ
事業所名	グループホーム サンライズ
訪問調査日	平成 19 年 12 月 20 日
評価確定日	平成 20 年 5 月 3 日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3972100469
法人名	有限会社 ライフ
事業所名	グループホーム サンライズ
所在地 (電話番号)	高知県香南市野市町母代寺字サル田381番地6 (電 話)0887-57-8822

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年12月20日	評価確定日	平成20年5月3日

## 【情報提供票より】( 19 年 11 月 19 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 6 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 11 人, 非常勤 3 人, 常勤換算	12.87人

### (2) 建物概要

建物形態	併設/ <u>単独</u>	新築/ <u>改築</u>
建物構造	鉄骨 造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000~35,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷 金	有( 円)	<u>無</u>		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 900円			

### (4) 利用者の概要( 12 月 20 日現在)

利用者人数	17 名	男性	5 名	女性	12 名
要介護1	4 名	要介護2	7 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 80.7 歳	最低	64 歳	最高	97 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	藤川クリニック、藤川歯科診療所	2
---------	-----------------	---

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

高台の団地の中にある比較的広い敷地の通路宿を改修したホームであり、家庭的な建物とは言い難いが、職員の熱い思いに支えられ、生活の場として定着している。利用者1~2人を1人の職員が受け持つ担当制を採っていることから、職員は担当する利用者については知らない事がないくらいの情報を持っており、利用者が安心して暮らすことが出来る要因の一つになっている。このホームの特徴の一つは、アットホームで、くつろげ、清潔感があり、安心感のある生活空間であり、利用者も職員もお互いに生きいきと、明るく、たくましく、生活している。これは、管理者及び職員の高齢者に対する考え方、福祉に対する想いに支えられたものであろう。また、地域の人を職員に採用し、積極的に地域の行事にも参加して、地域の中に溶け込んだホームとなっていることから、これからも今の状態を維持し、更に向上していくことを期待したい。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善点は、「注意の必要な物品の保管・管理」、「入居者の金銭管理」の2点であるが、改善計画を立て既に改善されている。改善経過についても、そのプロセスがわかるように記録されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の結果を基に職員全員で前向きに取り組み、良質なサービスの提供や向上に努めている。今回の評価については職員会で検討し、管理者が作成している。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は、ホームの行事、利用者の状況、地域住民からの苦情等について事業所から報告し、運営推進会議のメンバーから意見を聞くなどして双方向的な会議となっている。議事録も残されている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>単身世帯や家族が県外にいる利用者が多いため家族の出席は3~6人と少ないが、家族会は2カ月に1回開催している。出席した家族からは意見や思いを汲み取るように努めており、意見等があれば、可能なものから直ぐ対応をするようにしている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に入会し、月2回の地域の一斉清掃には利用者と共に参加している。お月見、お花見、忘年会、餅つき等には地域住民の参加もある。また、防火訓練は地域住民と共に行動など、まさに地域密着型サービスが実践されている。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 同一法人内に2つのグループホームがあるが、理念は独自のものとなっている。  <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 地域密着型の理念を追加している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 「あなたに会えてよかった」と思っていただけ介護を目指すという理念について、月2回の職員会やその他の機会に、「出会ってよかった」と思う具体的な事柄について話し合っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 担当制を採っており、職員1人が1～2人の利用者を担当している。利用者担当職員の濃密な人間関係が形成されており、理念は日々のサービスの中で反映され、実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。  <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 月2回、利用者と共に地域の一斉清掃に参加するとともに、お月見、お花見、忘年会、餅つきなど、積極的に交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。  サービス評価の意義等は職員全員に周知し、職員会で検討し、運営者にも報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 改善点は「注意の必要な物品の管理」と「入居者の金銭管理」の2点であったが、直ちに改善計画を立て既に改善している。改善経過についても記録が残されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 ホームの行事、利用者の状況、地域住民からの苦情等について報告し、運営推進会議メンバーの意見も聞くなど、双方向的な会議となっており、議事録も残されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 外部評価の結果や改善策を報告するとともに、計画を立て、改善に取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。  比較的広い会議室があり、その会議室をボランティアの人たちの交流の場に提供することがある。また、包括支援センターや介護保険課に出かけ、ホームの入居状況等を報告するなど、積極的にホーム側から交流に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族の来訪時に積極的に利用者の近況を報告しており、家族と職員との関係は良好で信頼関係もできている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 ホーム便り「空と大地」に行事や利用者の日々の暮らしぶりを写真入りで載せて家族に送付している。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 変化があればその都度電話等で報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 昨年の外部評価の改善項目であり、金銭出納帳は職員2名で確認し、家族に送付して、家族の確認も受けている。2,000円以上の買い物をするときは家族の了承を得るなど細やかな心配りをしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 単身世帯や、家族が県外にいる利用者が多いため家族の出席は3~6人と少ないが、家族会は2ヶ月に1回開催している。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 夏祭りの時に騒がしいとの苦情があったため、ノートに記載して職員全員に周知し、検討した結果を町内会長に伝えて解決に至ったことがある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 過去に数人異動や退職をしているが、管理者は利用者との馴染みの関係の重要性を良く理解しており、ここ1年ぐらい退職等はない。  <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わるときは、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 引き継ぎ期間を1～1.5カ月ぐらいとり、残った職員が細やかな心配りをするにより、利用者の混乱をなくすようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 研修の日程や内容は掲示板に掲示し、自分から参加を希望すれば雇用形態に関係なく、研修費用も一部法人負担で参加できるようになっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 復命書を作成し寮母会で報告して研修内容の共有を図っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 宅老所・グループホーム連絡協議会に入会して研修等にも積極的に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 地域のグループホームを中心に10カ所ぐらいのホームとの交流があり、サービスの質の向上等に努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 管理者と介護支援専門員が2～3回家庭や病院を訪問し、入居希望者に顔を覚えてもらうなどの細やかな配慮がみられる。センター方式のシートを使用して情報の収集に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 本人と家族にホームの見学に来てもらい、他の利用者と食事を一緒にしてもらったり、希望により3日間の体験入居を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 管理者2人で面接を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。</p> <p>利用者は人生の先輩であるという意識のもと、何かを教えてもらったり、一緒にしようという気持ちで接している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>利用者職員が肩の力を抜き、自然体で共に暮らしていることがわかるホームである。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。</p> <p>高齢者には「生活の知恵」があり日常生活において習うことが沢山あるとの考えから、漬物の漬け方、野菜の切り方、干し柿のつくり方など、日々、利用者から習いながら、利用者主体の生活をしている。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>毎日の会話や家族からの情報により、利用者の思いや希望の把握に努め、入居前の生活が継続できるように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族や在宅の介護支援専門員等から情報を得るだけでなく、利用者の表情や行動で本人の意向を推測し、サービスを提供をしている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>家族の意向は電話等で確認し、本人から意見や要望を聞いて介護計画に反映している。計画は利用者ごとに個性があり、実践可能なプランとなっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>職員会は月2回開き、利用者に変った事があればカンファレンスで検討している。変わった事がなければモニタリングは3カ月に1回行っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>短期目標は3ヶ月ごとに、長期目標は6ヶ月ごとに見直されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。</p> <p>本人や家族の要望がある時はそれを取り入れた見直しがされている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>個別の期間設定をしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続できるように努めている。 かかりつけ医への受診は家族が対応しているが、家族が無理な場合は職員で対応するなど柔軟に支援している。また、週4回協力病院の医師の往診があり、安心して暮らせる仕組みは出来あがっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 看取りの指針及び同意書は完備している。実際に過去2度の看取りを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 お墓参り、自宅への帰省、兄弟宅への訪問、外泊時の送迎、家族の要請がある場合の退院時の迎えなど、可能な限り利用者や家族の意向に沿った支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 本人や家族の希望に添った受診を支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 連絡ノートに受診結果を記録して、朝の申し送り時に伝達し共有している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 家族、医師、職員を交え話し合いがされ、契約時に説明して同意も得ている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。 休日でも訪問看護や協力病院の医師の往診を受けられる仕組みができています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 介護の基本であり意識的に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関することを話さないことを徹底している。 プライバシーの保護の観点から、ボランティアの訪問は会議室までに留め、利用者の居住部分には入らないようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 職員会で話し合いをし、他言しないことを徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 気分転換のための散歩をはじめ利用者の自宅へ出かけるなど、利用者の意向に沿った支援をしている。重介護の利用者にも笑顔が見られる。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 利用者から毎日希望を聞き献立を作っている。利用者の持てる能力に応じて食事づくりに参加できるよう心がけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 介助の必要な利用者の入浴は16:00~17:00の間で、職員が3人体制で当たっているが、その他の利用者については好きな時間に毎日入浴できる体制が整っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 入浴を拒否する利用者には、声掛けをする職員を変えたり、他の利用者に声を掛けてもらうなどの工夫をしている。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 担当職員は利用者のことを把握しており、加えて、利用者と一緒に生活する中で、何がその人の楽しみや役割になり得るかを把握することに、意識的に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 男性の利用者も、食事づくりの下ごしらや洗濯物たたみなど、出来ることは自主的に行うことができるよう職員が場面づくりをしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 一人ひとりの利用者の経験等を踏まえ、できることは継続して行なえるよう声かけをするなどのフォローをしている。		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 馴染みの美容院へ行ったり、利用者の自宅に行き皆で昼食を作って食べたり、野菜をつくったりしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 食材の買い出しには週2日、ドライブには月2回ぐらい出かけており、利用者から出かけたという希望があれば希望に添っていつでも出かけるようにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 玄関にセンサーの設置はなく、利用者がいつでも自由に暮らせるよう支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 一人で行く利用者には、職員が利用者の後を散歩のように付いて行き、その利用者のプライドを傷つけないように対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 町内会の人や近所の散髪屋さん等に見守りや声掛けについて依頼をするなど連携が図られている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 防火訓練は消防署の指導の下、年2回定期的に行い、近隣の人も参加している。防災訓練については、マニュアルは出来ているものの訓練には至っていない。  <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 非常用食料は2日分の備蓄があり、消火器は定位置に設置し定期的に点検しているが、避難路や避難場所についての確認はされていない。	○	高台にあり団地の中という立地条件ではあるが、避難路等について早急に確認される事が望まれる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。  <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 利用者の希望を献立に反映し、四季の食材を取り入れるなどの工夫をしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 一週間分の献立のチェックを年2回受けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 こぢんまりとしているが温かみがあり生活感のある空間で、使い込まれた食器棚等が置かれている。 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 壁面には額縁に入れられた風景写真が飾られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 玄関脇に懸崖づくりの菊が、庭先には干し柿が、共有スペースにはクリスマスツリーが置かれ、田舎生活や季節の香りがそこに感じられ、ホッと生活空間が出来上がっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置おくなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 使い慣れた家具がそれぞれの居室に置かれ、個性的で生活感のある空間となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 それぞれの利用者の居室は個性的であり、利用者にとって居心地の良いものとなっている。		